



しゅん工に向けた様々な取り組み

＜運転員の技術力の維持・向上＞

当社では、再処理工場のしゅん工に向け、運転員に必要な技術力の維持・向上のための教育・訓練など様々な取り組みを実施しています。

若手社員を対象に設備・機器の仕組みや運転操作、異常の兆候の把握など再処理工場の運転員として必要となる実践的な知識を習得するため、当社事業所近傍にあるグループ会社のジェイテック技術・訓練センターにおいて訓練を行っています。

【運転操作の習得訓練】

運転操作監視制御盤を使って運転開始から終了までの操作を行います。溶液をタンクから別のタンクに移送する操作により液位の変化を確認したり、機器故障を発生させ、その対処方法などを習得します。



中央制御室を模擬した運転操作監視制御盤で溶液移送の遠隔運転を行い、液位表示の変化を確認



現場を模擬した制御盤や機器が中央制御室での運転操作により正常に作動しているかを確認



【設備の異常の兆候を把握する訓練】

再処理工場では、運転員が機器の不具合や異常の早期発見のために、日々現場の巡視を行っています。設備の異常を再現、体感し、実際の現場巡視で、通常とは異なる機器の音や振動の変化を察知し、速やかに対応できるようにすることで、トラブルの未然防止に努めます。



目視による設備の状態確認



聴診棒を使った異音・振動の確認

再処理工場のしゅん工・操業に向けたアクションプランに基づき、運転員の技術力の維持・向上のための教育・訓練を着実に実施してまいります。

今後も運転員の技術力の維持・向上、設備・工程の立ち上げに向けた機器の保全などの様々な教育・訓練を行い、地域の皆さまにご安心いただけるよう当社社員・グループ会社・協力会社が一体となって安全を最優先に取り組んでまいります。